

超希釈尿療法 簡易法 (2)

3月号に引き続きウィルス感染症への対策と、超希釈尿療法の簡易法の補足をする必要がありますので、再度ここに取り上げたいと思います。

京都でも新型コロナ感染症では大学生のクラスターが発生し、4月の新年度を迎えさらに急速に広がる傾向をみせています。オーバーシュートを防ぐ基本は、皆が、自分が感染しないように、そして感染源にならないように、他人に感染させないように、と気を付けることです。できるだけ外に出ない、どうしても出る時は、人と人の間を2メートル程離れる、換気の悪いところを避ける、密閉空間には入らない、マスク、手洗い、手の消毒、顔洗い、を習慣化することです。毎日心配しながら、調べていますが、ウィルス感染症の疑いの方で今ごろ多いのは、ヒトメタニューモウイルス、RSウイルスで、ついでライノウイルス、少ないですが、インフルエンザの方もいます。今のところ新型コロナウィルス感染症の方は、一人もお見えではないです。ウィルス感染症対策は、何度も申し上げますように、過労を避け、十分に睡眠を取ること、アレルゲンを取り込まないこと、過食をせずに、ビタミンC(天然)、レモンマートル、シークニン(粉末の方)、ハイビスカス、しその実油などを取り入れることです。濃厚接触者、帰国者、新型コロナの疑いの方は、当診療所には受診できません。専門に受け付けている病院がありますので、その方へご相談下さい。

超希釈尿療法は、体調を良く保つために、このような状況下では、是非とも続けていただきたい療法です。前回の、簡易法は、今まで、正式に作っていた方には驚くほど簡易です。本当に同じものが出来ているのだろうか、と心配になられると思うのですが、正式な方法で長く作ってこられた方が、同じかどうか検証して下さいと有難いです。ORTでは、2回でほぼ+32(最適)の水に出来上がります。それから前回の簡易法では記載してなかったのですが、アンデスの塩を耳かき摺り切り1杯ほど入れることは、正式なやり方と同じです。入れると入れないのでは、出来上がった水の質が違います。ORTができる方は、比べてみて下さい。前回の簡易法のご紹介文に、うっかり漏れてしまい、ここに改めて補足致します。

では、皆で新型コロナウィルス感染症を乗り越えましょう。きっと学ぶべきものがたくさんあるのではないのでしょうか。